

第2次白岡市環境基本計画改訂（案）に係るパブリックコメントの結果と対応について

No.	意見	対応	意見に対する回答
1	<p>環境要素で使用している用語の「環境基準」と「環境基準値」の使い分け 環境基準は「達成若しくは非達成」であり、環境基準値は「下回る若しくは上回る」と記載するのが一般的かと思えます。水質の場合、環境基準と比較するのは75%値であり、年2回の測定の場合は測定した最大値が75%値になり、5.5mg/L前後の場合、「環境基準を達成している/達成していない」と記載され、「環境基準を下回る/上回る」とはならない。再考願います。</p>	<p>下回る/上回るの表現につきまして、御意見のとおり修正を行います。</p>	<p>「環境基準値」という言葉を基に、文言の修正を行います。 例) 環境基準を上回って ⇒ 環境基準“値”を上回って</p> <p>なお、資料の20ページ及び22ページにも同様の記載がありますので、そちらにつきましても同様に修正を行います。</p>
2	<p>P12「■BOD（生物化学的酸素要求量）濃度の推移」は非達河川数の経年変化を示していますが、BOD濃度の推移は示されていないので、再考願います。 今後、水質の測定の際は、同時に流量も測定し、負荷量の増減で見る必要があると思えます。水質保全計画を策定するには流量の測定は不可欠な要素であり、市域全体の下水道等の普及率ではなく、流域別の下水道等普及率によるコメントが重要ではないでしょうか。</p>	<p>グラフの表題を修正します。</p>	<p>P12のグラフにつきましては、表題が間違えておりましたので、表題を「■環境基準値超過河川数の推移」に修正します。 なお、「BOD（生物化学的酸素要求量）濃度」につきましては、資料の22ページに平成10年度以降の測定結果の掲載がございますので、そちらを御確認ください。 また、流量につきましては現在の検査の中で実施しております（市公式ホームページで公表しております https://www.city.shiraoka.lg.jp/soshiki/seikatsukeizaibu/kankyoka/4_2/835.html）。 今後、水質保全計画等を策定する場合には、御意見を踏まえて策定したいと思えます。</p>
3	<p>p18自然環境に係る課題の中で、「樹林地や農地が減少すると、…（省略）…、自然環境への依存が強い動物類は姿を消して…（省略）…樹林地や農地、水辺空間を守り、育てることで、市の豊かな自然を将来に残すことが大切です。」と課題を抽出しています。 前回の環境基本計画（案）でも指摘したのですが、あまりにも現状把握不足です。p11にはひこべえの森で確認された動物8種、植物9種が記載され、資料編p13～19にはその種のライフサイクル等のコメントを写真付きで解説しています。ひこべえの森はこんなにも貧相なのでしょうか。また、その写真も出版社の写真を利用し、現場での写真が1枚も使用されていません。なぜ、もっと現場に足を運ばないのでしょうか。「豊かな自然を将来に残すことが大切」と本当に思っているのでしょうか。動植物の生息・生育環境である樹林地や河川、湖沼など多様な空間における現状の把握が必要不可欠かと思えます。</p>	<p>貴重なご意見として承りますが、計画は現状のままとさせて頂きます。</p>	<p>環境課では、ひこべえの森に年に何度か足を運び、森の環境整備等の活動を行っております。加えて、ボランティア活動を行っている団体の方も週に数回、ひこべえの森での作業等を行っております。 しかし、残念ながら森の中で生き物を見かけることがあまりございません。 また、写真につきましては、計画を見ていただくかたによりわかりやすいものという考えから、出版社の写真を引用し、掲載することとしております。 今後につきましても、ひこべえの森に作業等で訪れる際には生き物等の観察を行い、計画に掲載できるような写真が撮影できましたら、引用していきたいと存じます。</p>
4	<p>自然環境 p11 自然環境の把握では、「ふるさとの森」と「保存樹木・保存樹林」が記載され、緑の分布や減少経過、緑の連続性など、エコロジカルネットワーク（緑のネットワーク）の形成状況の把握が必要かと思えます。その必要性を再考願います。</p>	<p>貴重なご意見として承りますが、計画は現状のままとさせて頂きます。</p>	<p>環境課では、「ふるさとの森」及び「保存樹木・保存樹林」について、指定開始からの状況等を把握しているところでございます。 また、関連する課といたしまして、街づくり課において、市内の都市公園の状況を把握しております。 エコロジカルネットワークの策定につきましては、生物多様性の観点からもその必要性を認識しているところではございますが、現状ではこれらの策定に必要なデータが不十分であることなどから、本計画への掲載はできない状況でございます。 今後は、これらに関する状況把握をより一層進め、第3次環境基本計画を策定する際などに反映していけるように努めてまいります。</p>